

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	静岡市
取組市町村名 取組団体・企業名	清沢こども園
取組の名称	あゆをつかんで食べよう
実施時期	10月14日(火)
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 みんなで楽し く食べよう <input type="checkbox"/> 2 痢疾を 食べよう <input type="checkbox"/> 3 バランスよく 食べよう <input type="checkbox"/> 4 太りすぎない やせすぎない <input type="checkbox"/> 5 よくかんで 食べよう  <input type="checkbox"/> 6 手を洗おう <input type="checkbox"/> 7 災害に そなえよう <input checked="" type="checkbox"/> 8 食べ残しを なくそう <input checked="" type="checkbox"/> 9 産地を 店探しあう <input type="checkbox"/> 10 宮・農の 体験をしよう  <input type="checkbox"/> 11 和食文化を 伝えよう <input type="checkbox"/> 12 食育を 推進しよう
取組内容	<p><b>【目的】</b> ・鮎をさばく様子を見たり、実際に食べたりすることを通して命の尊さを感じる</p> <p><b>【参加者】</b> 年長2名 年少2名 職員4名</p> <p><b>【実施内容】</b></p> <p>毎年、恒例行事となっている地域での「鮎の撈み取り」を実施しました。年長児は3度目の体験を生かしながら、鮎を捕まえようとする姿がみられました。そっと近づいたり、石で囲んで鮎が来るのを待ったり、2人で協力し「はさみうちだ」と自分達で考え工夫して捕まえていました。鮎はその場で内臓を取り、流水できれいに洗い流し、串に刺した状態で炭火を使って時間をかけて焼きました。子どもたちは頭から尾まできれいに食べ、先程まで生きていた鮎の命を頂くことを体験し、「どんな食べ物にも命があること」「食べ物の命を頂いていることに感謝していくこと」を学ぶ貴重な食育の機会となりました。</p> 

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	静岡市
取組市町村名 取組団体・企業名	静岡市立高松こども園
取組の名称	赤米づくり～田植えからおにぎりになるまで～
実施時期	5月28日～11月27日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 みんなで楽しく食べよう  <input type="checkbox"/> 2 稲ごはんを食べよう  <input type="checkbox"/> 3 バランスよく食べよう  <input type="checkbox"/> 4 太りすぎないやせすぎない  <input type="checkbox"/> 5 よくかんで食べよう   <input type="checkbox"/> 6 手を洗おう  <input type="checkbox"/> 7 災害にそなえよう  <input type="checkbox"/> 8 食べ残しをなくそう  <input type="checkbox"/> 9 産地を応援しよう  <input checked="" type="checkbox"/> 10 宮・農の体験をしよう   <input checked="" type="checkbox"/> 11 和食文化を伝えよう  <input type="checkbox"/> 12 食育を意識しよう 
取組内容	<p>&lt;目的&gt;</p> <p>赤米づくりを行うことで、子ども達の「命を頂いていることへの感謝」「生産者への感謝」を育む</p> <p>&lt;対象&gt;年長（33名）</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <p>昨年度に引き続き、年長児が登呂公園で赤米づくりを行い、田植えから赤米おにぎりを食べるまでを体験しました。</p> <p>5月に登呂公園の田んぼで田植えを行いました。子ども達は田んぼへ裸足で入り、苦戦しながらも楽しんで稻を植え、散歩の際には稻が育っているのか観察して、成長を見守りました。</p> <p>稻の収穫・脱穀を体験した後は、赤米を使ったおにぎりづくりをしました。土鍋で炊いた赤米ご飯を自分で握り、園庭にてみんなで食べると「赤米がプチプチしておいしいよ」「赤飯みたいだね」といった声が子ども達から聞けました。</p> 

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	静岡市
取組市町村名 取組団体・企業名	久能こども園
取組の名称	ふかしいもと FaceTime 交流
実施時期	令和7年11月17日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 みんなで楽しむ食べよう  <input type="checkbox"/> 2 朝ごはんを食べよう  <input type="checkbox"/> 3 バランスよく食べよう  <input type="checkbox"/> 4 太りすぎないやせすぎない  <input type="checkbox"/> 5 よくかんで食べよう   <input type="checkbox"/> 6 手を洗おう  <input type="checkbox"/> 7 災害にそなえよう  <input type="checkbox"/> 8 食べ残しをなくそう  <input type="checkbox"/> 9 産地を追溯しよう  <input checked="" type="checkbox"/> 10 宮・農の体験をしよう   <input type="checkbox"/> 11 和食文化を伝えよう  <input checked="" type="checkbox"/> 12 食育を推進しよう 
取組内容	<p>○ねらい：ふかしいもを味わい、他園の友達とつながる体験をする</p> <p>○対象児：年中児、年長児各1名 計2名</p> <p>○実施内容：</p> <p>こども園の畑で収穫したさつまいもの中から自分の食べたいさつまいもを選び、水道で泥を洗い流しました。包丁で切った後、鍋にさつまいもを並べると、年長児が断面が白色なことを見つけ「白だ、なんでだろう？」とさつまいもの調理する前と後の色の違いに気づいているようでした。さつまいもを食べるときはいつも“黄色”的感覚があったのでしょうか。そして、蒸しあがったものはきれいな黄色。「いいにおーい！」、「おいしそう！」の声があがりました。</p> <p>その後、FaceTime を使い、大谷こども園の子どもたちとつながって、今日食べたさつまいもの話や、大谷こども園でのさつまいもクッキングの話などをやりとりを楽しみました。</p> <p>大谷でも、同じ食材でクッキングをしたことを探り、一緒においしさを分かち合ったような体験となりました。</p>  